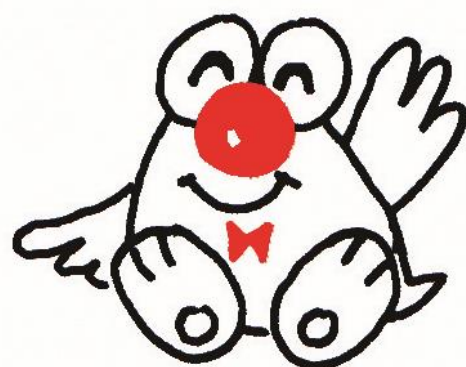


# 第16回広島国際アニメーションフェスティバル

## THE 16<sup>TH</sup> INTERNATIONAL ANIMATION FESTIVAL IN JAPAN, HIROSHIMA 2016

1	第16回広島国際アニメーションフェスティバルについて	1
2	大会ポスターについて	4
3	大会プログラムについて	6
4	選考審査について	9
5	選考審査結果	15
6	コンペティション上映リスト	16
7	会場位置図	20



マスコットキャラクター：ラッピー

平成28年6月6日

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

お問い合わせ先（担当：岡本、高松）  
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号  
TEL 082-245-0245 FAX 082-504-5658、245-0246

## 1 第16回広島国際アニメーションフェスティバルについて

(1) **事業名称** 第16回広島国際アニメーションフェスティバル  
(英語表記 The 16th International Animation Festival in Japan, HIROSHIMA 2016)

(2) **精神** 愛と平和 (LOVE & PEACE)

(3) **目的**

ア 国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、人類が平和に生きることを追求するASIFA (国際アニメーションフィルム協会)の心と、世界の恒久平和を願うヒロシマの心が一つになって行う、「愛と平和」を希求する祭典とする。

イ 国内外から参加する多くの人々が世界最初の被爆地広島で被爆の実相に触れることにより、人間相互の尊厳を理解するとともに、平和意識の高揚と友愛・連帯の輪の広がりを願い、世界平和の実現に寄与する。

ウ 世界の著名なアニメーション作家が一堂に会し、作家と参加者が集い、ふれあいながら、傑出した作品を鑑賞することにより、世界のアニメーション芸術の普及・発展及び映像文化の振興・映画産業の発展に寄与する。

(4) **主催団体等**

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会  
広島市、公益財団法人広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-JAPAN)

公認 国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA)

協力 日本アニメーション協会

助成 文化庁、公益財団法人JKA

後援 総務省、外務省、経済産業省、観光庁、国際交流基金、日本政府観光局(JNTO)、広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、公益財団法人広島平和文化センター、公益財団法人広島観光コンベンションビューロー、中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、広島県経営者協会、広島経済同友会、一般社団法人広島青年会議所、広島市PTA協議会、公益社団法人映像文化製作者連盟、一般社団法人日本動画協会、一般社団法人日本映画テレビ技術協会、中国新聞社、朝日新聞社、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、日本経済新聞社広島支局、産経新聞社、一般社団法人共同通信社、時事通信社広島支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、ふれあいチャンネル、株式会社ひろしまケーブルテレビ、株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン、カートゥーン ネットワーク (ターナージャパン株式会社)

(5) **概要**

世界各国・地域から応募される最新の短編アニメーション作品を選考及び公開審査によりグランプリ、ヒロシマ賞等を決定するコンペティションのほか、国内外の優れた作家の特集、長編作品、学生優秀作品等を上映する特別プログラム、プレゼンター

ション、セミナー、展示、ワークショップ等で構成する総合的な映画祭とする。

(6) **開催期間**

平成28年8月18日(木)～8月22日(月)

(7) **会場**

JMS アステールプラザ (広島市中区加古町4番17号)

(8) **国際名誉会長**

ジャン=フランソワ ラギオニー

【ジャン=フランソワ ラギオニー 経歴】

デッサンと演劇についての研究に携わった後、ジャン=フランソワ ラギオニーは、1964年から1972年にかけてポール グリモーのもとで短編作品の制作を始める。その後、自身のスタジオをフランスのセヴェンヌに設立。

1978年に制作した『La Traversée de l'Atlantique à la Rame/大西洋横断』はパリでセザール賞を、カンヌ映画祭で短編部門パルム・ドールを受賞。

1984年から2000年にかけて、制作会社ラ・ファブリックを設立、共同経営し、長編『Gwen et le Livre de Sable/グウェン』を制作。2011年に、『Le Tableau/絵の中の小さな人々』を制作、発表する。

2005年からブルターニュ地方に暮らし、そこで5作目の長編アニメーション『Louise en Hiver』を制作している。

長編小説『La Vie Agitée des Eaux Dormantes』(フォリー・ダンクル出版社)、中編小説ならびに自身の作品に関するイラスト・アルバムが刊行されている。



フィルモグラフィー：

短編

- ・『La Demoiselle et le Violoncelliste/お嬢さんとチェロ弾き』(1965)  
アヌシー国際アニメーション映画祭グランプリ
- ・『L'arche de Noe/ノアの方舟』(1966)  
ママイア国際アニメーション映画祭受賞、クラクフ国際短編映画祭銀龍賞
- ・『Une Bombe par Hasard/ある日突然爆弾が』(1969)  
クラクフ国際短編映画祭金龍賞、ママイア国際アニメーション映画祭グランプリ、テヘラン国際短編映画祭グランプリ、ビルバオ国際ドキュメンタリー短編映画祭受賞、イエール受賞、オーバーハウゼン国際短編映画祭受賞、メルボルン国際映画祭受賞
- ・『Plage Privée』(1971) (実写)
- ・『Helene ou le Maalentendu』(実写)
- ・『Potr' et la Fille des Eaux/人魚に恋した男』(1974)
- ・『L'acteur/俳優』(1975)
- ・『Le Masque du Diable/悪魔の仮面』(1976)  
アヴォリアッツ国際ファンタスティック映画祭グランプリ
- ・『La Traversée de l'Atlantique à la Rame/大西洋横断』(1978)  
カンヌ国際映画祭短編部門パルム・ドール、オタワ国際アニメーションフェスティバル グランプリ、セザール・アニメーション賞'78 受賞

長編アニメーション

- ・『Gwen et le Livre de Sable/グウェン』(1985)  
アヌシー国際アニメーション映画祭批評家賞、ロサンゼルス映画祭長編作品賞
- ・『Le Château des Singes/おサルのはなし』(1999)  
カイロ国際映画祭受賞、ケチケメートアニメーションフェスティバル受賞、ハリウッド映画祭ディスクバリー賞受賞
- ・『L'île de Black Mor/ブラックモアの島』(2004)  
2004年シカゴ国際児童映画祭受賞、2005年から2015年、「クレージュ・オ・シネマ」の上映目録入り

- ・ 『Le Tableau／絵の中の小さな人々』 (2011)  
セザール賞ノミネート  
公式選定： アヌシー、広島、ニューヨーク NYICFF、ジッフォーニ (イタリア)、TIFF キッズ・トロント、ブラティスラバ・ビエンナーレ、アニメスト (ブカレスト)、アニフィルム (チェコ) 受賞、ザグレブ審査員特別賞、シュトゥットガルト、フェルネイヴォルテール受賞、ラ・レユニオン、全州 (韓国)、メルボルン、「ポジティブ」誌 60 周年、リセアン賞、ポルトガル、ルンド (スウェーデン)、ハンガリー、南アフリカ、ポーランドのアレキノ国際映画祭受賞、コペンハーゲン、ブエノスアイレス国際インディペンデントアニメ映画祭 (アルゼンチン)、スペイン、アイルランド、ダゴタ、メキシコ モンテレイ国際映画祭審査員特別賞、2013 年ベルギーのマグリットシネマ賞にノミネート、アルゼンチンのヌエバ・ミラーダ国際児童映画祭ダブル受賞、ハンガリーのケチケメートアニメーションフェスティバル受賞、2015 年「クレージュ・オ・シネマ」上映目録入り
- ・ 『Louise en Hiver』 (2016 年公開予定) J P L フィルム (レンヌ) 制作
- ・ 『Le Voyage du Prince』 制作中

出版物：

- ・ 『Les Puces de Sable』 中編小説 (レオン・フォール出版社)  
ジャン・マセ賞
- ・ 『Images-Images』 中編小説 (レオン・フォール出版社)
- ・ 『La Traversee de l'Atlantique a la Rame／大西洋横断』 (ガリマール社 フォリオ・ジュニア)
- ・ 『La vie Agitee des Eaux Dormantes』 (2005) 長編小説 (フォーリー・ダンクル出版社)

## (9) 大会プログラム

### ア コンペティション

世界中から応募された最新の作品の中から選考審査 (P 9) を通過した作品について公開審査を行い、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、観客賞などが選ばれます。

- ・ 期間 平成 28 年 8 月 18 日 (木) ~ 21 日 (日) 表彰式 22 日 (月)
- ・ 審査対象作品数 60 作品 (25 か国)

(選出作品一覧及び上映日は P 16 ~ 19 のとおり)

- ・ 国際審査委員 (本審査) 6 名 (日本人 1 名、外国人 5 名)
- ・ 賞の種類及び賞金

グランプリ	1 点	100 万円
ヒロシマ賞	1 点	100 万円
デビュー賞	1 点	50 万円
木下蓮三賞	1 点	30 万円
観客賞	1 点	10 万円
国際審査委員特別賞	数点	賞金なし
優秀賞	数点	賞金なし

### イ 特別プログラム、サブイベント

大会プログラム (P 6 ~ 8) のとおり

## 2 大会ポスターについて



アートワーク：林 静一

広島の心 世界に広がれ  
Love & Peace  
私たちの心 世界に広がれ  
Love & Peace  
命 生き生き アニメーション

## アートワーク：林 静一 Seichi Hayashi (1945～)



### 【林 静一 経歴】

1945年3月7日生まれ。

東映動画にアニメーターとして勤務。長編作品『わんぱく王子の大蛇退治』、テレビ短編シリーズ『狼少年ケン』に携わり、退社後、漫画家となる。主な作品は『赤色エレジー』で、歌にもなった。

76年にCF作品『ロッチ小梅』のアートディレクターを担当。ベニス映画祭銅賞、クリオ映画祭特別賞、電通賞などを受賞する。

79、80年には郵政省切手「日本の歌シリーズ」を手がけ、84年には『ねこのしゃしんかん』でエルバ特別賞を受賞。2007年、パルコ出版からCG漫画作品『夢枕』発売。同年、八王子夢美術館で個展開催、その後各地の美術館で個展を開催。2014年、セインズベリー日本藝術研究所の招きで、ロンドンの日英文化交流基金などで講演、同年8月よりキューバ、メキシコで、支倉常長、遣欧使節団400年記念の個展を開く。

主な著作に画集『心景美人画』（講談社）、『源氏物語』（朝日新聞社）、『淋しかったからくちづけしたの』（パルコ出版）。

エッセイには『僕の食物語』（フレーベル館）、『モモ子さんと僕』などがあり、近年、コンピュータ漫画作品『夢枕』（パルコ出版）を発売。

海外では、英訳版『赤色エレジー』（D&Q社刊）、仏語版をコーネリアス社より出版。

※国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-Japan) 会員

### 3 大会プログラムについて

現時点で決定しているプログラムについてお知らせいたします。  
今後さらに多くの特別プログラムを追加する予定です。

#### (1) コンペティション(公開審査)

平成28年8月18日(木)から21日(日)までの4日間、世界中から応募された最新の作品の中から選考審査を通過した作品について公開審査を行います。グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、観客賞などが選ばれます。特に、観客賞は、ご来場頂いた皆様の投票により選ばれます。世界の巨匠、未来の巨匠の作品が競演し、各国から出席するコンペティション監督と共に、映画祭の醍醐味を味わうことができます。受賞作品は、フェスティバルの最終日の22日(月)に発表され、表彰式の後、上映されます。

#### (2) 特別プログラム

##### ジャン=フランソワ ラギオニー短編作品特集(上映とトーク)

今大会の国際名誉会長を務めるジャン=フランソワ ラギオニー(フランス)は、アニメーション界の巨匠として現在も新作長編の制作に取り組んでおられ、その最中の来日となります。ラギオニーの短編作品の一挙上映とトークをお楽しみください。

##### ジャン=フランソワ ラギオニー長編作品『グウェン』(1985年制作)

国際名誉会長ジャン=フランソワ ラギオニーの不朽の名作である、長編『グウェン』を特別上映します。

##### ピクサー最新短編作品『PIPER』(Alan Barillaro 監督、2016年6月公開予定)メイキング・セミナー

今年6月、長編『ファインディング・ドリー』と共に公開予定のピクサー最新短編作品『PIPER』の上映、そして、Alan Barillaro 監督と Marc Sondheimer プロデューサーによるメイキング・セミナーを行います。Barillaro氏は、『Mr. インクレディブル』『WALL・E/ウォーリー』『メリダとおそろしの森』のスーパーヴァイジング・アニメーターを務めた方です。

##### アジア・プレミア ドキュメンタリー『Film Adventurer Karel Zeman』(2015年制作)

『水玉の幻想』(1949年)や長編『悪魔の発明』(1958年)で知られるチェコの人形アニメーション/特撮の巨匠カレル ゼマンの人生と作品とその類希な才能を追うドキュメンタリー作品。現代の著名な映画制作者へのインタビューを通じて、今日でも多くの人々を魅了して止まないゼマンの世界に迫ります。

##### ポール グリモー作品集『ターニング・テーブル』(1988年制作)

1985年の第1回大会で国際名誉会長を務めた巨匠 ポール グリモーの制作活動と足跡をたどる短編作品集。グリモーご本人が、案内役として登場し、自らが生み出した多くのキャラクターたちと共に作品を楽しみます。

### 日本のアニメーション大特集

日本の短編アニメーションを中心に、草創期から現代まで、優れた作品を一挙特集します。

### ベスト・オブ・ザ・ワールド

近年制作された世界の秀作・話題作を一挙上映します。

### 学生優秀作品特集

若手の才能を発掘するプログラムとして評判の特集です。世界の学生作品の質は大変高く、アニメーション界の将来を担う優れた才能を堪能していただけます。

### 平和のためのアニメーション

広島精神と心をつなげた、平和をテーマとする優秀作品を上映します。

### アニメーション・フロム・ザ・ワールド

日本で観る機会が少ない国々からの、インスピレーション溢れる短編作品を紹介します。

### 子どものためのアニメーション

子ども向けに制作された世界の優秀作品を上映します。

### 世界の子供たちが作るアニメーション・プロジェクト『My Favorite Tree (私の大好きな木)』

ASIFA ワークショップ委員会では、一つのテーマのもと、各国でアニメーション・ワークショップを行い発表しています。2016 年度プロジェクトのテーマは『My Favorite Tree』、15ヶ国の子供たちが制作に参加します。子供たちの素晴らしい想像力と創造力をご堪能ください。それぞれの国の文化や風土にも触れることができます。

## (3) サブイベント

### エデュケーショナル・フィルム・マーケット

世界で唯一、学校・学生・企業を結ぶユニークなマーケット。アニメーション専攻のある大学や専門学校が出展し、学校紹介や学生作品の上映を行います。世界の学生作品を閲覧できるコーナーもあります。アニメーション教育機関の出展及び皆様のご参加をお待ちしております。

### フレーム・イン

プロを目指す若者のための、作品持ち込み上映と情報交換の場です。アニメーション専門家のアドバイスを受けることもできます。また、映画祭ゲストによる特別セミナーも開催されます。多くの皆様のご参加・ご利用をお待ちしております。

### ネクサス・ポイント

プロのアニメーション関係者やプロダクション、配給会社等のための、作品の持ち込み上映や広報・プレゼンテーションを通じたビジネス交流の場です。多くの皆様のご参加・ご利用をお待ちしております。



### コンピュータ・アニメーション・メイキングワールド

アニメーション制作をパソコンで手軽に体験できるコーナーです。使い方のやさしいソフトで幼児から大人まで、初めての方でも簡単に自分で絵を描いて動かすことができます。また、デジタルカメラなどで撮影した写真を元にアニメーションを作ることができます。作ったアニメーションはパソコンやインターネットのホームページで見ることができます。会場では随時スタッフによる制作の講習も行っています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

### キッズ・クリップ

子どもたちを対象とした自由参加のワークショップの場です。パラパラアニメーションや驚き盤などの制作によるアニメーションの原理の実体験から、実際にビデオ撮影してアニメーションを制作することまで、幅広く体験学習をしていただけます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

## 4 選考審査について

平成27年10月に世界154か国・地域に約21,500件、大会規約・出品申込書を発送して作品募集を呼びかけ、平成28年2月1日から4月1日まで受付をしたところ、78か国・地域から2,248作品（過去最多）のアニメーション作品の応募がありました。

**(1) 選考期間**

平成28年5月9日(月)から25日(水)まで 17日間

**(2) 選考会場**

広島市映像文化ライブラリー 広島市中区基町3番1号  
(一部、JMS アステールプラザでも実施)

**(3) 選考方法**

国際選考委員が全応募作品を審査し、コンペティション対象作品を決定した。

**(4) 国際選考委員（5名）**

氏 名	国 籍
アーリック シュピリユーク (Alik Shpilyuk) (国際選考委員長)	ウクライナ
カレン ケリー (Karen Kelly)	イギリス
眞賀里 文子 (まがり ふみこ)	日本
ダーヴィッド ブオブ (David Buob)	ドイツ
オリヴィエ カテラン (Olivier Catherin)	フランス

## 第16回広島国際アニメーションフェスティバル国際選考委員の経歴

### 国際選考委員長



アーリック シュピリユーク  
(ウクライナ)

KROK 国際アニメーション映画  
祭プログラムディレクター  
フィルム評論家

1958 年生まれ。アーリック シュピリユークは、コンピューター・プログラマーとしてモスクワ経済統計大学を卒業。一方、当初より、映画に対して強い情熱を抱いており、1975 年から 1980 年まで毎日、ゴスフィルモフォンド（旧ソ連国立映画保存所）で作品を鑑賞し、映画について学んだ。また、1980 代後半のウクライナ国内で最大のシネマクラブの一つである、キエフ「ダイアログ」シネマクラブの設立者の一人でもある。1990 年から 1999 年、キエフ Molodist 国際映画祭のディレクター職として、プログラムコーディネーター、その後プログラムディレクターを務める。1993 年以降、KROK 国際アニメーション映画祭にて、当初は上映ディレクターとして、その後プログラムディレクター、選考審査委員及びカタログ編集者を兼務している。2000 年から 2007 年、フィルムアート専門誌 KINO-KOLO マガジンの副編集長を務める。また、Gunnar Bergdahl 監督のスウェーデンのドキュメンタリー 2 作品『Ljudmilas röst / The Voice of Ljudmila』（2001）、『Ljudmila & Anatolij』（2006）のラインプロデューサーを務める。2007 年から 2009 年、ウクライナ最大規模のシネマネットワーク「マルティプレックス・ホールディング」の国際担当副事務局長を務める。2010 年から 2014 年、オデッサ国際映画祭のプログラム（アーティスティック）ディレクターを務め、現在は、プログラム・アドバイザー及び選考審査委員を務めている。2009 年以降、シュピリユークは、ウクライナ映画製作者連盟理事、また、国際委員長を務めている。さらに、ウクライナ国立フィルム・エージェンシーの専門委員会副委員長でもあり、その時々で、ウクライナ国内の、ドイツ文化センターやブリティッシュ・カウンシル、フランス・インスティテュートの上映プログラムのキュレーターも務めている。また、ウクライナ国内外の多くの映画祭（アヌシー国際アニメーション映画祭、中欧・東欧映画祭「ゴー・イースト」、ワルシャワ国際映画祭、トビリシ国際映画祭、BIAFF バトゥミ国際映画祭など）の選考委員や審査委員を務めている他、ヨーロッパ・フィルム・アカデミー会員及び専門家、国際批評家連盟会員、フリーのフィルム評論家でもある。



カレン ケリー  
(イギリス)

アニメーション作家  
イラストレーター

カレン ケリーは、アニメーション監督として英国アカデミー賞 (BAFTA) に2度ノミネートされており、優美で絵画的なアニメーションの作風は、彼女の受賞作品やコマーシャル作品で使用されている。

ロイヤル・カレッジ・オブ・アートでは、アニメーションで優秀な成績を修め、美術の修士号を取得。カレンの短編アニメーション作品は英国内外で受賞している。アニメーション作品『Stressed』(アーツ・カウンシル/チャンネル4作品、1994)は、広島国際アニメーションフェスティバル国際審査委員特別賞、アヌシー国際アニメーション映画祭審査員特別賞、ブリティッシュ・アニメーション・アワードで「15分未満の作品」最優秀賞および、「5分以上のアニメーション作品」最優秀アニメーション賞を受賞。また、コマーシャル作品「Primal, Levi's Jeans for Women」は、ロサンゼルスワールド・アニメーション・セレブレーションで最優秀テレビコマーシャル賞を受賞。

カレンの作品は、世界中の多くの映画祭で上映され、ロンドンのチャンネル4などの地上波で放映されている。また、ブリティッシュ・フィルム・インスティテュートや、ロンドンのインスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アート、ナショナル・ポートレート・ギャラリー、パリのポンピドゥー・センターにて作品が展示されている。

<フィルムおよびアニメーション関連作品>

『Egoli』(1989) 英国アカデミー賞 (BAFTA) ノミネート

『Stressed』(1994) 英国アカデミー賞 (BAFTA) ノミネート

『Candela』(チャンネル4・キューバ・フィルム・デヴェロップメント)

『Bedlam』(共同制作作品、チャンネル4テレビジョンのための、風刺や、社会問題に関する都市型アニメーション・シリーズを準備中。)カレンは、コマーシャル・アニメーション監督として、また、長編やコマーシャル作品のストーリーボードアーティスト、キャラクターデザイン、ポッププロモーションのアーティストリック・ディレクターとしての経験を有している。

現在は、インディペンデント・アニメーション作品の企画および展示のために、日本武道「土道館」について、トレーニングやドローイングやアニメーションを通じた包括的な研究を行なっている。

カレンはイラストレーターでもあり、ハーロウ・スクール・オブ・アートでは、イラストレーションで優秀な成績を修め、美術の修士号を取得している。

一方、2011年の東日本大震災を受けて設立された募金団体「Kimono Girls in London」等、自身の思いと近い慈善活動のために、カラフルなイラストレーションを制作している。

また、芸術や文化交流を通して世界がより良いものになると信じ、芸術表現を通じて社会問題への意識を高めることに力を注いでいる。



眞賀里 文子  
(日本)

立体アニメーション作家

日本と中国の人形アニメーションの祖、持永只仁の「人形映画製作所」でアニメーションに出会い、電撃的ショックを受けそのまま現在に至っている。

初めてのアニメーションは、アメリカのTVシリーズ『ピノキオの新しい冒険』(1961)で、それ以後、『アンデルセン物語』(1966)、『マッドモンスターパーティー』(1966)、『スモークキーベアの唄』(1967)などアメリカのTV作品が続く。

それらの間を縫い、エコー社制作の星新一原作『ふしぎなくすり』(1965)、『ようこそ宇宙人』(1966)の2作品のアニメーションを制作。その後、同じくエコー社制作の、『花ともぐら』(1970)、『チョコタン ぼくのおよめさん』(初のドローイング作品、1970)『さるかに』(1972)のアニメーション制作に携わる。

日本のTV作品として、『コメットさん』(アニメーション部分、1967)、『サラリーマンミニミニ作戦』(1970)、『へんしん! ポンゴコ玉』(オープニング&アニメーション部分 1973)、『魔人ハンターミツルギ』(アニメーション部分、1973)、日本初のハイビジョン作品『ブリキロボットの恋』(1988)、NHK教育テレビ『プチプチ・アニメ』、NHK教育テレビ『算数の時間マテマティカ』(低学年算数の時間の副映像 2004)などを制作。

劇場用作品として、日本初長編人形アニメーション『くるみ割り人形』(1979)、『キティとミミィの新しい傘』(1981)などのアニメーションを制作。

特撮では、『ウルトラ Q 第4話 マンモスフラワー』(アニメーション部分、1966)、『帝都物語』(アニメーション部分、1988)、『孔雀王』(アニメーション部分、1988)を制作。

また、県からの依頼により制作した作品も3作品あり、一つは埼玉県『天までとどけ』(1993)で、飛行機が初めて飛んだ場所である所沢航空公園で不定期に上映され、おそらく世界で1本のアイマックスによる人形アニメーションである。この他に、長崎県『遣唐使ものがたり』(1999)、青森県津代海岸から飛び立ち、太平洋無着陸横断初飛行のエピソード『ミスビードル号の大冒険』(2003)がある。一方、『イソジン』(明治製菓、シリーズ、1988～)、『Mr. CONTAC』(GSK、シリーズ、1996～)、『ドコモダケ』(NTT DoCoMo、シリーズ、2005～)など、1970年代から増え始めたCMは1000本以上あり、今現在もゆっくと更新中である。

現在アート・アニメーションのちいさな学校で後進の育成に力を注いでいる。

国際アニメーションフィルム協会日本支部/ASIFA-JAPAN 会員。



ダーヴィッド ブオブ  
(ドイツ)

アニメーション作家

ダーヴィッド ブオブは、1972 年、ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトの小さな村に生まれる。1993 年、学校卒業後、建築を学ぶためカッセルに移るが、2 年後、石工見習いとなる。1997 年に見習い期間を修了後、墓石彫刻に携わり、バラと十字架、ハトなどを多数彫り、とくにアルブレヒト デューラーの祈る手の彫刻を制作。1998 年、ドレスデン芸術アカデミーで彫刻を学ぶためドレスデンに移って間もなく石彫刻を離れ、コンセプチュアル・アートやコンピュータ・ベースのアートに強い関心を抱くようになる。3 年後、ウィーンで1 年間学んだ後、パフォーマンス・ビデオアートにより強い関心を抱き、ニューメディア学科に変更。2003 年に学位を取得し、2005 年、最高位のマイスターシューラーを取得。

2005 年、ブオブはアーティスト・イン・レジデンス・プログラムにより、6 ヶ月間ニューヨークで過ごす。また、2007 年、同プログラムにより、オハイオ州コロンバスに3 ヶ月滞在。2008 年には、フィンランドのヘルシンキに8 ヶ月滞在する。墓石彫刻の仕事をする傍ら、ドイツ、フランス、イギリス、トルコ、アメリカ、日本など多くの国で、作品の展示と上映を行う。

2009 年、短編アニメーション作品の制作に専念することとし、2011 年に自身初の短編アニメーション『Das Haus/ザ ハウス』を発表。世界 100 ヶ所以上の映画祭で上映され、2012 年、広島大会のコンペティションでも上映される。2014 年、2 作目の『Utö』が初公開され、50 ヶ所以上の映画祭で上映される。最近では3 作目の『Me by You』が完成し、公開が待たれている。すでに新たな短編アニメーション『Tongoy』を制作中であり、2016 年に完成予定である。

ブオブは、基本的に、脚本からアニメーション、監督、音声まで全て一人で担当しており、時には音楽も制作する。現在は、紙に手描きする古典的な水彩アニメーションを好んでおり、合成やコンピューターを使わず、フレーム毎に1 枚ずつ描いている。現在、ドレスデンとベルリンに在住し、制作を行っている。



オリヴィエ カテラン  
(フランス)

ノラニム・ゼネラルマネージャー  
プロデューサー

1965年、パリ生まれ。オリヴィエ カテランは、社会科学高等研究院 (EHESS) にて民族学の教育を受け、コーカサスのグルジア国内の民族帰属意識問題について取り組んだ。サービス会社で管理職として勤めた後、1997年、文化事業経営のマスタークラスに出席し、再度、教育を受ける。その後、映画配給会社アルケイオン・フィルムズに勤務し、レ・フィルム・デ・キャトル・レーヴ協会を設立、映画協会連盟に勤務した。2000年、フランスアニメーション映画協会 (AFCA) の理事に就任。その後2年間、フランスの国際アニメーションデーの祝賀行事及び、資料センターを担当。2003年から2008年の初めまで ASIFA フランス支部の理事を務め、国際アニメーションデー (毎年10月28日開催) の調整を担当。2008年4月、AFCA を離れ、Serge Elissalde、Jack Wang と共にアニメーション映画制作会社「Les Trois Ours」(The Three Bears)を設立、経営を行う。セザール賞最優秀アニメーション映画賞受賞作『Kiki of Montparnasse』(2013)を含む15作品以上の短編作品と数作のオーディオビジュアル作品を制作した後、同社は2014年10月末、操業を停止。

カテランは、INA (フランス国立視聴覚研究所) でアニメーション部門の制作教育も担当し、オルリーのエコール・ジョルジュ・メリエスでの指導の他、現在はルーベの Pole IIID で、5年生の映画制作プロジェクトを受け持っている。また、円卓会議やマスタークラスでは議長を務め、リアル映画祭のアニメーションキュレーター他、アーティスト団体 Barybal の設立者で代表も務めている。2012年、再びフランスアニメーションフィルム協会の理事となり、事務局長でもある。

2015年8月より、フランス北部のアニメーション界全体 (アニメーション学校、プロデューサー、スタジオ、協会、作家、アニメーション専門家) を再編成する団体である、ノラニムのゼネラルマネージャーを務めている。

同年、ヨーロッパアニメーションプライド賞協会 (ヨーロッパアニメーションにおいて、その能力と才能を讃える受賞式を設立することを目的としたもの) の創設者の一人となり、理事を務めている。

## 5 選考審査結果

区分	制作国・地域	選考 作品数	コンペティション 選出作品数	区分	制作国・地域	選考 作品数	コンペティション 選出作品数	
アジア	アラブ首長国連邦	1		ヨーロッパ	ノルウェー	21		
	イスラエル	34	1		ハンガリー	35		
	イラン	15			フィンランド	10		
	インド	13			フランス	206	11	
	インドネシア	2			ブルガリア	22		
	シンガポール	40			ベルギー	42	1	
	タイ	4			ポーランド	52	1	
	大韓民国	216	1		ボスニア・ヘルツェゴビナ	3		
	台湾	88			ポルトガル	19		
	中華人民共和国	89	1		マケドニア	1		
	トルコ	5			モルドバ	1		
	日本	277	7		ラトビア	3	1	
	フィリピン	1			リトアニア	2		
	ベトナム	1			ルーマニア	3		
	香港	9			ロシア	93	7	
	マカオ	2			<b>小計(36) &lt;13&gt;</b>	<b>1,009</b>	<b>34</b>	
	マレーシア	1			北米	アメリカ	152	2
	レバノン	3				カナダ	58	2
<b>小計(18) &lt;4&gt;</b>	<b>801</b>	<b>10</b>	<b>小計(2) &lt;2&gt;</b>	<b>210</b>		<b>4</b>		
ヨーロッパ	アイルランド	9	1	中南米	アルゼンチン	6		
	アゼルバイジャン	1			ウルグアイ	2		
	イギリス	115	2		エクアドル	3		
	イタリア	28			コロンビア	6		
	ウクライナ	5			チリ	1		
	エストニア	13	4		ブラジル	29		
	オーストリア	21			メキシコ	15		
	オランダ	28		<b>小計(7) &lt;0&gt;</b>	<b>62</b>	<b>0</b>		
	キプロス	1		オセアニア	オーストラリア	35	1	
	ギリシャ	6			ニュージーランド	3		
	クロアチア	23			<b>小計(2) &lt;1&gt;</b>	<b>38</b>	<b>1</b>	
	コソボ	1		アフリカ	アルジェリア	1		
	スイス	29	1		エジプト	1		
	スウェーデン	12			チュニジア	2		
	スペイン	39	1		ブルキナファソ	1		
	スロバキア	12	1		南アフリカ	2		
	スロベニア	2		<b>小計(5) &lt;0&gt;</b>	<b>7</b>	<b>0</b>		
	セルビア	2		<b>合作(上記以外8か国※1) &lt;上記以外5か国※2&gt;</b>		<b>121</b>	<b>11</b>	
	チェコ	19	2	<b>合計作品数</b>		<b>2,248</b>	<b>60</b>	
	デンマーク	18		<b>選考作品の応募国・地域数 78か国・地域</b>				
ドイツ	112	1	<b>コンペティション選出作品の応募国・地域数 25か国</b>					

注) 小計の ( ) 内の数字は、選考作品の応募国・地域数、< >内の数字は、コンペティション選出作品の応募国・地域数。

※1：合作(上記以外8か国)・・・オマーン、ヨルダン、アイスランド、ベラルーシ、コスタリカ、ベネズエラ、ペルー、モロッコ

※2：合作(上記以外5か国)・・・オランダ、クロアチア、デンマーク、ハンガリー、リトアニア

\*コンペティション選出合作作品の内訳

フランス・スイス	2作品
フランス・ベルギー・スイス	1作品
スペイン・リトアニア	1作品
フランス・ベルギー	1作品
大韓民国・フランス	1作品
エストニア・クロアチア・デンマーク	1作品
カナダ・ポーランド・ドイツ	1作品
ドイツ・フランス・ハンガリー	1作品
カナダ・オランダ・ベルギー	1作品
スペイン・日本	1作品



## 6 コンペティション上映リスト

8月18日(木)コンペティション				上映時間 2時間6分26秒
番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Piano ピアノ	エストニア	10分23秒	Kaspar Jancis カスパー ヤンチス
2	AGE OF OBSCURE AGE OF OBSCURE	日本	03分45秒	Mirai Mizue, Hana Ono 水江 未来、 小野 ハナ
3	The Zebra ザ ゼブラ	フランス	02分59秒	Viviane Boyer-Araujo ヴィヴィアン ボワイエ-アロジョ
4	Lili リリ	イスラエル	10分18秒	Tom Kouris, Hani Dombe トム クーリス、 ハニ ドンベ
5	About a Mother アバウト ア マザー	ロシア	07分19秒	Dina Velikovskaya ディナ ヴェリコブスカヤ
6	Satie's "Parade" サティの「パレード」	日本	14分11秒	Koji Yamamura 山村 浩二
7	BORDERLINES ボーダーラインズ	チェコ	04分53秒	Hana Nováková ハナ ノバコバ
8	Tanzonk タンゾンク	ロシア	09分20秒	Sasha Svirsky サシャ スヴィルスキーユ
9	Two Friends トゥ フレンズ	フランス	04分04秒	Natalia Chernysheva ナターリア チェルニェソヴァ
10	Jukai ジュカイ	フランス	09分19秒	Gabrielle Lissot ガブリエル リソ
11	Life with Herman H. Rott ライフ ウィズ ハーマン H. ロット	エストニア クロアチア デンマーク	11分06秒	Chintis Lundgren チンティス ルンドウグラン
12	Cowboyland カウボーイランド	スロバキア	04分45秒	David Stumpf ダヴィド シュトンプス
13	I have dreamed of you so much アイ ハブ ドリームド オブ ユー ソー マッチ	フランス	02分59秒	Emma Vakarelova エマ ヴァカレロバ
14	The master ザ マスター	エストニア	17分38秒	Riho Unt リホ ウント
15	THE PLUME ザ プラム	中国	09分08秒	Ying Huang イン ホアン
16	The Sleepwalker ザ スリープウォーカー	カナダ	04分19秒	Theodore Ushev テオドル ウシェフ

## 8月19日(金)コンペティション

上映時間

2時間9分7秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Rhizome リゾーム	フランス	11分25秒	Boris Labbé ボリス ラベ
2	One, Two, Tree ワン トゥ ツリー	フランス スイス	06分33秒	Yulia Aronova ユリア アゴノバ
3	Bird Flu バード フルー	エストニア	09分41秒	Priit Tender プリート テンダー
4	Of Shadows and Wings... オブ シャドウズ アンド ウィングス...	フランス スイス	12分58秒	Elice Meng, Eleonora Marinori エリス メング、 エレオノラ マリノリ
5	Three Fitted Flies スリー フィテッド フライズ	スペイン リトアニア	07分47秒	Elisa Morais, María Álvarez エリサ モライス、 マリア アルヴァレス
6	The Christmas Ballad ザ クリスマス バラード	チェコ	09分41秒	Michal Žabka ミハル ジャブカ
7	November ノーヴェンバー	フランス	04分04秒	Marjolaine Perreten マルジョレーヌ ペロトン
8	Mrs. Metro ミセス メトロ	オーストラリア	04分22秒	Aggelos Papantoniou アゲロス パパントニオウ
9	Yül and the Snake ユル アンド ザ スネーク	フランス	12分38秒	Gabriel Harel ガブリエル アレル
10	ANOTHER MEMORY アナザー メモリー	スペイン 日本	05分54秒	Fran Bravo フラン ブラヴォ
11	Stone Soup ストーン スープ	フランス ベルギー	06分46秒	Clementine Robach クレモンティーヌ ロバク
12	Before Love ビフォア ラブ	ロシア	19分15秒	Igor Kovalyov イゴール コヴァリョフ
13	FEED FEED	日本	06分52秒	Eri Okazaki 岡崎 恵理
14	ZEPO セポ	スペイン	03分11秒	Cesar Diaz Melendez セザール ディアスメランデス
15	The Teeny-weeny Fox ザ ティーニー ウィーニー フォックス	フランス ベルギー スイス	08分00秒	Aline Quertain, Sylvia Szkiladz アリーヌ ケルタン、 スィルヴィア スキラズ

8月20日(土)コンペティション

上映時間  
2時間6分54秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Sexy Laundry セクシー ランドリー	カナダ ポーランド ドイツ	12分01秒	Izabela Plucinska イザベラ プルチンスカ
2	Among the black waves アamong ザ ブラック ウェーヴズ	ロシア	11分10秒	Anna Budanova アンナ ブダノヴァ
3	The Eye of the Storm ジ アイ オブ ザ ストーム	日本	05分03秒	Masanobu Hiraoka Masanobu Hiraoka
4	Tank タンク	ベルギー	06分20秒	Raoul Servais ラウル セルヴェ
5	About coati アバウト コアティ	ロシア	05分59秒	Alexandra Slepchuk アレクサンドラ スレプチュク
6	The Wild Boar ザ ワイルド ボア	ドイツ フランス ハンガリー	13分32秒	Bella Szederkényi ベラ セデケニ
7	Noevus ヌエヴウス	フランス	07分57秒	Samuel Yal サミュエル ヤル
8	MASTER BLASTER MASTER BLASTER	日本	03分51秒	Sawako Kabuki 冠木 佐和子
9	Cat Meets Dog キャット ミーツ ドッグ	カナダ オランダ ベルギー	11分13秒	Paul Driessen ポール ドリエセン
10	Tik Tak ティック タック	エストニア	09分28秒	Ülo Pikkov ウロ ピッコフ
11	Chulyen, a Crow's tale チュリーヌ ア クロウズ テール	フランス	19分52秒	Agnès Patron, Cerise Lopez アニエス パトロン、 セリーズ ロペズ
12	TIGERS TIED UP IN ONE ROPE タイガーズ タイド アップ イン ワン ロープ	フランス	07分38秒	Benoit Chieux ベノウ シュウ
13	O オー	アメリカ 大韓民国	03分30秒	Erick Oh エリック オー
14	EDMOND エドモンド	イギリス	09分20秒	Nina Gantz ニナ ガンツ

## 8月21日(日)コンペティション

上映時間  
2時間6分0秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Peripheria ペリフェリア	フランス	12分12秒	David Coquard Dassault ダヴィッド コカール ダソ
2	Snowfall スノーフォール	アイルランド	04分43秒	Conor Whelan コナ ウィラン
3	The night of the Naporitan ナポリタンの夜	日本	06分37秒	Yusuke Sakamoto 坂元 友介
4	World of Tomorrow ワールド オブ トゥモロウ	アメリカ	16分36秒	Don Hertzfeldt ドン ハーツフェルト
5	The empty 空き部屋	大韓民国 フランス	09分26秒	Dahee Jeong ダヒ チョン
6	Fruit フルーツ	ドイツ	06分56秒	Gerhard Funk ゲルハート フンク
7	WAITING FOR THE NEW YEAR ウェイティング フォア ザ ニュー イヤー	ラトビア	08分10秒	Vladimir Leschiov ヴラディミール レシチョフ
8	MANOMAN マノマン	イギリス	10分40秒	Simon Cartwright サイモン カートライト
9	Insect Bite インセクト バイト	大韓民国	02分29秒	Grace Nayoon Rhee グレース ネューン リー
10	Why Banana Snarls ホワイ バナナ スナールズ	ロシア	10分12秒	Svetlana Razgulyaeva スヴェトラーナ ラズグラエバ
11	Impossible figures and other stories II インポッシブル フィギュアズ アンド アザー ストーリーズ II	ポーランド	14分50秒	Marta Pajek マルタ パイエク
12	Blind Vaysha ブラインド ヴァイシャ	カナダ	08分13秒	Theodore Ushev テオドル ウシェフ
13	veil 幕	日本	05分25秒	Yoriko Mizushiri 水尻 自子
14	The Gossamer ザ ゴッサマー	ロシア	04分04秒	Natalia Chernysheva ナターリア チェルニェソヴァ
15	Erlking 魔王	スイス	05分27秒	Georges Schwizgebel ジョルジュ シュヴィッツゲベル

## 7 会場位置図

JMSアステールプラザ（広島県広島市中区加古町4番17号）

電話：082-244-8000

### 【JR広島駅から】

#### 市内電車利用の場合

広島港行（紙屋町経由）－市役所前下車（徒歩約600m）

江波行－舟入町下車（徒歩約400m）

#### バス利用の場合

広島バス24番 吉島営業所行または吉島病院行－加古町下車（徒歩約200m）

#### タクシー利用の場合

約15分

### 交通案内

